

平成30年7月3日

小規模多機能ホームさかえまち 運営推進会議議事録

*参加者

利用者 1名、家族 3名、地域包括支援センターせせらぎ 1名、民生委員 1名、
職員 2名

1、日時：平成30年6月23日（土）14：00～15：00

2、場所：小規模多機能ホームさかえまち 第二リビング

3、議題：

<6月の登録状況と利用状況>

登録人数 23人

通い平均 12.8人

宿泊平均 3.7人

訪問 286回/月

<活動と行事報告>

- ・マンドリンとギターの歌会、小原先生歌会、三味線と民謡の歌会のボランティアさん継続してくださっています。
- ・東光寺小学校4年生との交流を行い、小学生には車椅子の試乗体験をして頂き、その後少人数のグループに分かれて利用者さんのお話を聞く会を持ちました。
- ・本部のひだまり音楽会に参加しました。

<職員の研修>

- ・認知症研修
- ・小規模多機能の他施設から管理者の方を招いての研修：小規模のあり方について

<事例報告>

最近利用開始になった方。初めの2回は通いで来ることができたがそれ以降は通えていない。アルコール依存症を持つ方であり、どのようにアプローチをしていったらいいのかわからない。通いがご本人にあっているのかもわからない、ということで次回の受診時にケアマネ・管理者が同行し、担当医師に相談することになっている。
⇒受診後の結果：通いはご本人に合っていない。訪問に切り替えて安否確認や水分補給の支援を行うことになった。

<民生委員から>

・さかえまちに面しているバス通り（169号）で先日交通事故がありましたが、目撃者がおらず未だに事故の詳細が分かっていません。被害者の方は近くに住む方でしたが、日常的に他の方と繋がりを持つととされたい方でした。普段から近所の方と繋がっていれば情報をもらえたり、何か手伝うことができたりしたのではないかと思います。

<地域包括センターから>

・今年も9月に認知症月間があります。今までは認知症の方がいるご家族に向けた内容でしたが、今年は認知症にまだ関心を持っていない方へ向けた内容となっています。地域で認知症の方を支える仕組みを作っていきたいという考えがあります。

<さかえまちより>

・地域とのつながりはさかえまちにとって大切なテーマです。小規模はご本人の在宅生活を支える施設なので、ご本人が在宅のままこの地域で暮らし続けることができる支援をしたいと常に考えています。その為に、いつもご本人が買い物に行くお店と一緒に買い物をしたり（一人で行くことはできなくても職員と一緒に外に出ることで近所の方に会えたり、お話しすることができます）、地域の病院や薬局、包括支援センターと連携を取ったりしています。しかしそれ以上に出来ることをしたいと考えており、地域懇談会（*）に参加することにしました。

*地域懇談会とは日野市内の中学校地区にわかれて40名ほどの方が集まり交流や情報交換をする場です。自治会・社会福祉法人・事業者・商店街・消防団・交通安全協会・スポーツ団体・青少年委員会・PTA 子供会・行政・NPO・大学生の方々が参加されています。

地域の方にさかえまちの存在を知っていただければ、小規模という施設を使いながら在宅生活を続けることができるとわかっていただけますし、何かあった時に助け合うことができるかもしれないからです。具体的には地域の方がボランティアに来てくださったり、利用者様の離設の時には一緒に探してくださるということがありました。

今回、初めて参加し、小規模さかえまちの紹介をすることができました。また、「自分の居場所（家以外）」というテーマではマザアスがさかえまちの建物で行っているあったカフェを挙げてくださる方が数名いらっしゃり、地域の方の居場所になれているのだと、嬉しくなりました。